

平成19年度 施策評価表

所属 28100000

教育委員会 指導室

施策	1858 確かな学力の定着					
区分						
対象	区立の小・中学校の全児童・生徒 平成18年度 児童数20,181人 生徒数8,676人					
施策意図	生きる力や基礎的な学力を身に付けながら、社会に対応できる能力を育てている					
現状と課題	国際化や情報技術等の進展が著しい中、これからの教育は、社会の変化に主体的に対応することができるように子どもたちの思考力、判断力、表現力などを育成することが求められている。確かな学力の定着を図るためには、少人数授業などの指導法の改善、読書活動の充実など、様々な取り組みを行っていく必要がある。					
成果指標	1：基礎学力定着度（確かな学力の定着度調査） 2：学習に向かう意欲度（確かな学力の定着度調査）					
目標達成状況			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
	成果指標1 [%]	予定	69.00	70.00	72.00	
		実績	70.00	69.94		
	成果指標2 [%]	予定	78.00	80.00	81.00	
		実績	73.00	73.00		
	成果指標3 [%]	予定				
		実績				
	トータルコスト (千円)	予定		273,374	379,767	
		実績	262,756	270,794		
	施策の位置付け	区の関与度合	区中心。教育振興ビジョンの重要な一つが、子どもたちの確かな学力の定着を図ることであり、児童・生徒に基礎的・基本的な学力を身に付けさせることは公教育の使命である。			
区民ニーズへの貢献		非常に大きい。児童・生徒が確かな学力を身に付け、将来に対して希望をもって意欲的に学習に取り組んでいることは、保護者だけでなく地域社会の強い願いである。				
成果向上の必要性		向上必要。児童・生徒の学力向上を図るためには、児童・生徒の学力状況の分析に基づいた継続した取組が重要であり、さらに水準を向上させる必要がある。				
成果向上の容易性		容易ではない。確かな学力の定着のためには、現状分析をはじめとして、教員の資質・能力の向上、学習機会の増大、外部人材の活用など、多角的な取組が必要である。				
位置付け総合評価	拡充。葛飾区教育振興ビジョンの重要施策である「確かな学力の定着」を図ることは、区民ニーズの高いものであり、公教育の使命である。確かな学力の定着に関する各事業を継続・充実・発展していくことは、重要であると判断している。					
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称			トータルコスト(千円)	総合評価
	185801	科学教育センター運営			6,148	6
	185805	教育研究奨励事業			6,044	6
	185807	学習指導員派遣事業			47,789	6
	185811	葛飾学習チャレンジ教室			9,178	6
	185812	小中連携教育推進			4,455	6
	185804	インターネット活用事業			16,092	5
	185810	確かな学力の定着度調査委託			19,681	5
	185802	教職員研修			5,680	4
	185803	特色ある学校づくり推進			18,917	4
185806	日本語指導員派遣事業			17,970	4	

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

平成19年度 施策評価表

所属 28100000
教育委員会 指導室

施策	1858 確かな学力の定着			
	事業コード	名称	トータルコスト(千円)	総合評価
施策 目的 達成 のため の 事務 事業	185808	学校図書館支援	102,857	4
	185809	教育研究・教育情報提供	6,325	4
	185813	クラスサポーター派遣事業	9,658	4

【総合評価】 6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28100000

施 策 1858

教育委員会 指導室

確かな学力の定着

期 間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		1,368	2,172		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		0	0		
		一般財源	(5)		270,062	376,111		
	直接費	事業費	(6)		252,638	360,051		
	職員人件費	人件費	(7)		18,792	18,232		
		再雇用職員分	(8)		0	0		
		(職員数：賦課)	(9)		2.16	2.12		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		2.16	2.12		
	調整額	間接費	(12)		0	0		
		(加算)減価償却費	(13)		0	0		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		1,944	1,484		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
		調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		1,944	1,484		
		トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		273,374	379,767		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	1,207	1,024			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	0	0			
		一般財源	(24)	260,046	267,964			
	直接費	事業費	(25)	247,392	247,574			
	職員人件費	人件費	(26)	13,861	21,414			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数：賦課)	(28)	1.67	2.58			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	1.67	2.58			
	調整額	間接費	(31)	0	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0	0			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	1,503	1,806			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
		調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	1,503	1,806			
		トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	262,756	270,794			

施策名	確かな学力の定着
-----	----------

担当課： 指導室

施策の達成状況

【達成度評価】

学校図書館支援指導員や学校図書館システムの拡大、科学教育センターの事業の拡大、教育研究指定校や教育研究モデル校の充実など、確実に成果を上げている。教職員研修や帰国子女教育を見直し、内容の拡充を図っている。このように各事業の継続・充実を図ることによって、確かな学力の定着に向けた取組は、着実に成果が上がっている。

構成事務事業の次年度方向性

【次年度方向性の考え方】

葛飾区教育振興ビジョンの重要施策である「確かな学力の定着」を図ることは、区民のニーズの高いものであり、公教育の使命である。したがって、確かな学力の定着にかかわる各事業を継続・拡充していくことは、今後も重要であると判断している。教科学習の充実を図る「学習支援講師派遣事業」、基礎的・基本的な学習の定着を図る「葛飾学習チャレンジ教室」と教員の資質向上を図る「教員研修」の拡充を進めるとともに、各事業を継続・充実させ、確かな学力の定着をさらに図っていく。